

お 知 ら せ

**東京国際空港空港アクセス鉄道開削部(P3駐車場前)
躯体築造工事に係る技術協力業務を発注します
～関東地方整備局の港湾空港工事で初めてECI方式を採用～**

関東地方整備局では、東京国際空港空港アクセス鉄道開削部(P3駐車場前)躯体築造工事に於いて、港湾空港工事で初めてのECI方式(技術協力・施工タイプ)による発注手続きを行います。

当該工事は、開削工法により道路直下に鉄道の駅ホーム部の躯体を築造しますが、道路の通行等を確保しつつ、近接構造物に影響を与えないよう施工する必要があるなど、技術的難易度が高いことから、設計段階から施工者独自のノウハウを取り入れることができるECI方式を採用することにより、効率的な設計・施工が期待されます。

技術協力業務は、技術提案を公募し、その審査の結果を踏まえて選定した者と契約します。本業務において、別途契約する設計業務に技術提案内容を反映させながら価格等の交渉を行い、交渉が成立した場合に、工事の契約を行います。

- 案件名 : 東京国際空港空港アクセス鉄道開削部(P3駐車場前)躯体築造工事に係る技術協力業務
- 履行期間: 契約締結日から令和5年3月10日まで
- 業務内容: 計画準備、協議・報告、技術協力業務(技術提案の技術情報等の提出、その他の技術情報等の提出、設計調整協議、設計の確認、施工計画の作成、全体工事費の算出、関係機関との協議資料作成支援)、報告書作成
- 参考額 : 10百万円程度(税込み)

問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部 羽田空港アクセス鉄道プロジェクト推進室

室長 熊野 哲也
室長補佐 鈴木 竜彦

横浜市中区北仲通5-57横浜第二合同庁舎
電話 045-211-7421

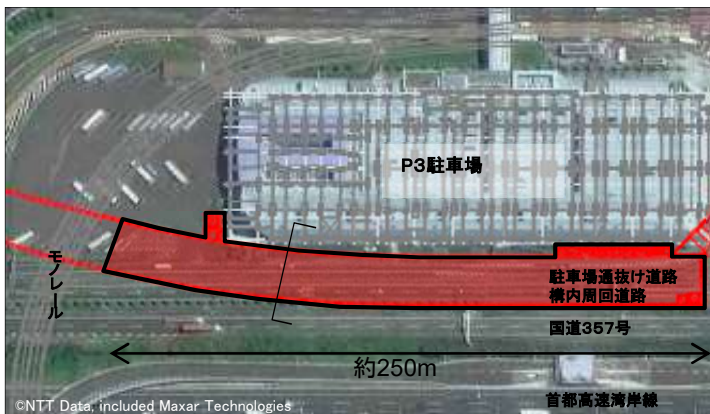
技術協力業務・工事の概要

ECI方式を採用する理由

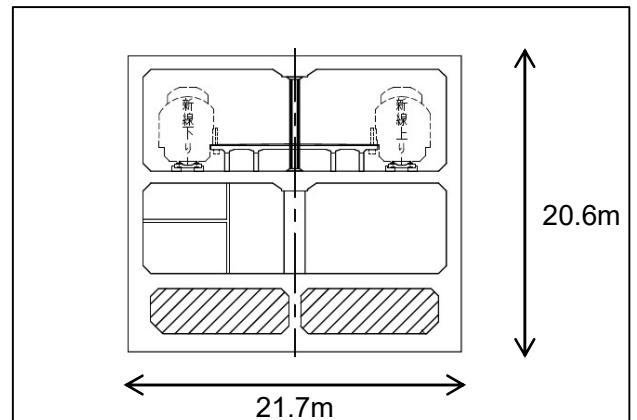
- P3駐車場前面部において、開削工法により、羽田空港アクセス線の駅ホーム部の躯体を築造する工事です。
- 本工事は、我が国で最も利用者が多い東京国際空港において一般車両等が多く通行する空港内の道路直下に躯体を築造するため、空港利用者への影響を最小限にする必要があります。特に道路の通行や駐車場への出入口を確保することが求められています。また、P3駐車場、国道357号等に囲まれた狭隘な区域での施工となることに加え、開削施工時には高低差による偏土圧の影響等が想定されるため、近接構造物に影響を与えないよう、安全・確実に施工する必要があります。その他、施工箇所は超軟弱地盤を改良した複雑な地盤であるため、地盤改良の確実な施工をはじめ、様々な施工リスクへの対応も必要となります。
- このように本工事は技術的難易度が高く、詳細設計において施工者の高度で専門的な知見を活用する必要があることから、ECI方式(技術協力・施工タイプ)を採用します。



位置図



平面図



標準断面図

【技術提案項目】

- ① 空港内の道路交通への影響の最小化に有効な施工方法の提案
- ② 狭隘な施工エリアにおける安全・確実な土留め施工方法の提案
- ③ 想定される施工リスクの抽出と対応方法の提案
- ④ 施工期間の短縮及びコスト縮減に有効な工法等の提案

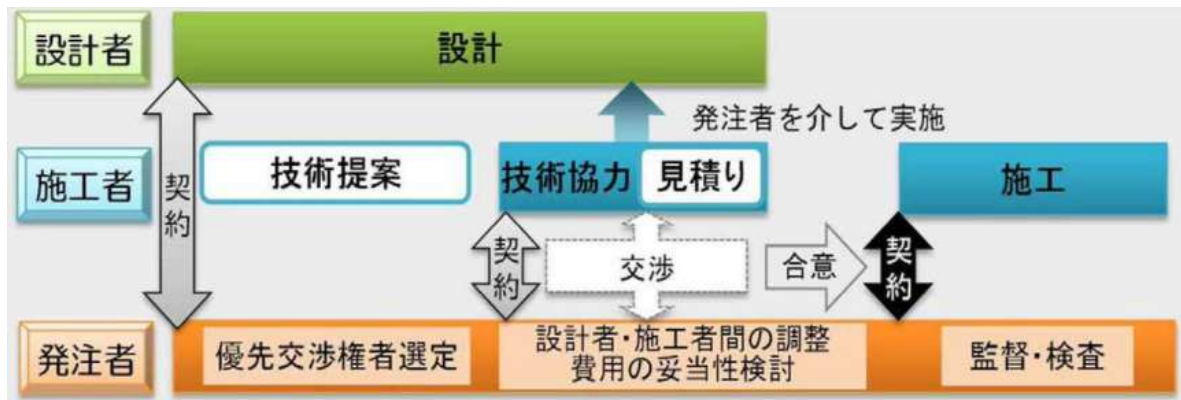
【技術協力業務のスケジュール】

- ・公示 令和4年3月16日(水)
- ・申請書及び技術提案書の提出期限 令和4年5月20日(金)
- ・優先交渉権者の選定及び通知 令和4年7月14日(木)

ECI方式(技術協力・施工タイプ)の概要

- 公共工事の品質確保の促進に関する法律(品確法)第18条において、仕様の確定が困難な工事に対して、技術提案の審査及び価格等の交渉により仕様を確定し、予定価格を定める、「技術提案・交渉方式」が規定されています。
- ECI方式(技術協力・施工タイプ)は、技術提案・交渉方式の1つであり、技術提案に基づき選定された優先交渉権者(施工者)と技術協力業務の契約を締結し、別の契約に基づき実施している設計に技術提案内容を反映させながら価格等の交渉を行い、交渉が成立した場合に工事の契約を締結します。

技術協力・施工タイプにおける手続きの流れ



技術提案・交渉方式について詳細は国土交通省HPに掲載 http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_tk1_000016.html